

改善報告書

令和6年7月19日

1. 大学名：東亜大学

2. 認証評価実施年度：令和5年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○医療学部健康栄養学科及び芸術学部トータルビューティ学科の収容定員充足率が0.7倍未満であることから、定員確保に向けた新たな取組みなどの改善が必要である。

4. 改善状況及び結果 基準項目2-1について

令和6年度入学定員については、令和5年11月の日本高等教育評価機構の現地調査で定員を大きく超過した学科と定員に達していない学科があることをご指摘いただき、現地調査直後からより様々な受験生情報・競合学科を有する他大学等の情報を整理分析し、全7学科中5学科の定員を見直すこととした。令和5年12月文部科学省へ収容定員変更届出を提出した。令和6年度の入学者数は265人で入学定員充足率は88.3%となり、令和5年度の入学者数より6人増、入学定員充足率では2%増により、受験生の希望に合った適正規模の入学定員に改善しつつある。

今回指摘いただいた令和5年度の健康栄養学科入学者数は前年比9人減の12人となり、入学定員充足率（30%）迄落ち込み、令和4年度の52.5%よりさらに減少したものの、学生募集を強化し、さらに入学定員の見直し（40人から30人に入学定員を変更）をした結果、令和6年度は前年比6人増の18人まで回復し、入学定員充足率（60%）を実現でき、今年度は回復の兆しが出てきた。今後は、さらに学生募集の早期開始等積極的な取組みにより、改善を求められている70%以上の充足率を目指すべく様々な観点から努力したい。

令和5年度のトータルビューティ学科入学者数は前年比20人増の32人となり、入学定員充足率（106.7%）を実現できた。しかし、令和6年度は前年比15人減の17人まで減少、入学定員充足率（68%）となり、更なる募集強化に取り組みたい。わずかであるが入学定員の見直し（30人から25人に入学定員を変更）も行い、適正規模の学科として収容定員充足率（63%）の回復に向けて今後も努力していきたい。

改善の取組みとして、受験生のニーズにあった入学者選抜の検証を行っていきながら、学生募集活動（オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問等）の対面広報活動はもちろん、オンライン広報（WEBオープンキャンパス、オンライン個別面談、学科WEBサイトのリニューアル）などを行い、定員充足率の向上に努める。特に、対面高校訪問

とオープンキャンパスに力を入れ、学科の特徴等積極的に学科専任教員が伝え、かつ学内イベントには在学生の協力を求め、学んでいる学生目線で高校生に働きかける。あわせて学部学科の入学定員については、受験生の希望に合った適正な規模となるように今後も常に見直しを継続していく。

学科別入学定員充足率（過去6年間）
（小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで表示）

学部	学科	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
人間科学部	心理臨床・子ども学科	130.0%	125.0%	117.5%	112.5%	75.0%	65.0%
	国際交流学科	130.0%	127.5%	75.0%	75.0%	50.0%	83.3%
	スポーツ健康学科	86.3%	120.0%	130.8%	143.1%	132.3%	120.0%
医療学部	医療工学科	71.4%	120.0%	83.6%	120.0%	85.5%	108.9%
	健康栄養学科	73.3%	90.0%	52.5%	52.5%	30.0%	60.0%
芸術学部	アート・デザイン学科	130.0%	153.3%	116.7%	86.7%	106.7%	68.0%
	トータルビューティ学科	125.0%	90.0%	53.3%	40.0%	106.7%	68.0%
全学		98.7%	118.0%	93.3%	97.7%	86.3%	88.3%

5. エビデンス

【資料 2-1-1】 入学者数等の推移

改善報告書

令和6年7月19日

1. 大学名：東亜大学

2. 認証評価実施年度：令和5年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-2

○全学共通の人間教育科目にある「地域社会と個人の役割」と「心とからだの体験実習」において、シラバスを作成し、成績評価基準及び授業計画を示すよう改善を要する。

4. 改善状況及び結果 基準項目3-2について

令和6年3月期教学部委員会において、令和6年度より早期に両シラバスを作成・アップロード支援することを協議の上承認した。指摘の2科目について令和6年度からシラバスを作成し、教務システムにて公開している。当該科目を含むすべての開講科目で遺漏なくシラバスを作成・公開するよう運用体制の見直しを行った。

5. エビデンス

- ・【資料 3-2-1】 R6.3 教学部委員会議事録
- ・【資料 3-2-2】 シラバス「地域社会と個人の役割」
- ・【資料 3-2-3】 シラバス「心とからだの体験実習」

改善報告書

令和6年7月19日

1. 大学名：東亜大学

2. 認証評価実施年度：令和5年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：5-2

○寄附行為第6条に定められている「評議員のうちから評議員会において選任したもの」とする2号理事を評議員会の前に理事会で承認しているため、改善を要する。

4. 改善状況及び結果 基準項目5-2について

令和6年3月期理事会（令和5年度第3回）において、日本高等評価機構による評価報告書にある改善を要する点について、本理事会に係る基準項目5-2を共有し、指摘事項と類似した本1号議案を寄附行為に従い手順を追って審議した。

令和5年度第3回学校法人東亜大学学園評議員会及び令和5年度第10回学校法人東亜大学学園理事会が共に令和6年3月30日に開催された。そこでは任期満了に伴う評議員の推薦及び選任について審議され、13:00開催の理事会（一部）では評議員の推薦及び選任を行い14:10開催の評議員会で諮問事項として提示し、評議員に意見を求めた結果意義なく承認された。そして評議員会での議論の内容及び結果が16:15開催の理事会（二部）で報告された。類似した指摘事項であるが、今年度は寄附行為第6条に定められた「評議員のうちから評議員会において選任したもの」とする2号理事は在任期間中であり改選は行われなかったが、指摘を頂いている「改善を要する点」については理解しており、次回改選の際には理事会（一部）で2号理事が事前に選任される事はなく、評議員会において2号理事が評議員から選任されるべく進め、そのことが明確に確認できる議事録を作成する。

5. エビデンス

- ・【資料 5-2-1】 令和6年3月期学校法人東亜大学学園理事会議事録
- ・【資料 5-2-2】 令和6年3月期学校法人東亜大学学園評議員会議事録
- ・【資料 5-2-3】 学校法人東亜大学学園評議員名簿（令和5年4月1日）
- ・【資料 5-2-3】 学校法人東亜大学学園評議員名簿（令和6年4月1日）

改善報告書

令和6年7月19日

1. 大学名：東亜大学

2. 認証評価実施年度：令和5年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：6-3

○収容定員の未充足、シラバスの未作成や理事の選任などの管理面に問題があるので、内部質保証システムの機能性が十分とはいえない点は、改善を要する。

4. 改善状況及び結果 基準項目6-3について

上記指摘事項3点含め、法人運営における重要事案の手順・チェック体制・改善を事務局長、法人事務局長または事務局次長が必ず出席する会議体（理事会・評議員会・審議会・教学部委員会・学生部委員会・広報部委員会等）で課題を改善し、各委員会の連携を図りながら内部質保証の組織体制の強化を図っている。

あわせて、毎週水曜日に開催している学長の諮問機関である企画運営室会議において、各学部、事務局、法人事務局長、常勤監事等が参加し、重要事案の報告や検討を行い、大学運営の内部質保証について実行・実施していく。

・収容定員の未充足については、基準項目2-1で回答。「理事会・広報部委員会の連携、令和6年度収容定員変更届出、受験生情報競合大学情報の分析に基づいた早期型学生募集等」

・シラバスの未作成については、基準項目3-2で回答。「授業担当教員のシラバス作成を教学部委員会で組織的にカバー・チェック、学科担当教学委員任せにしない会議体で確認等」

・理事の選任については、基準項目5-2で回答。「事務局長・法人事務局長等総務担当理事により、寄附行為に基づいた理事会運営・法人運営を執行する等」

5. エビデンス

- ・【資料 6-3-1】 東亜大学企画運営室規程
- ・【資料 6-3-2】 R6.3 企画運営室会議議事録
- ・【資料 6-3-3】 学校運営の教務組織図(R6.4.1)